



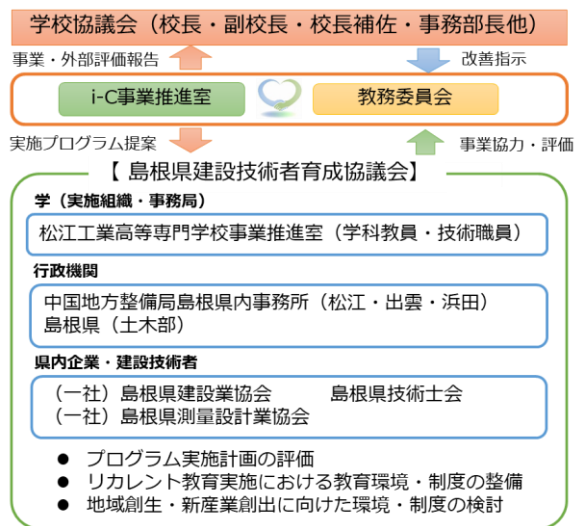
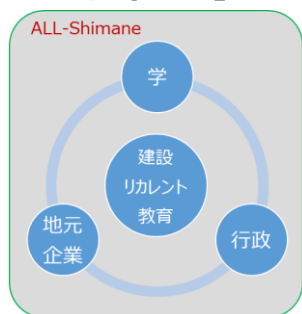
島根における建設技術者のためのリカレント教育プログラム

【取組の目的、内容】

わが国では、少子高齢化により就業者の急激な減少による建設技術者の担い手不足が生じており、地域創生・地域活性化のために建設分野の労働生産性の向上が急務である。

本事業では、松江高専のi-Construction※に対応した建設技術者の育成プログラムを充実させ、建設分野の生産性向上を担う技術者育成を行うことと、本教育プログラムをリカレント教育として地域に提供し、地域の建設分野の生産性向上を担う技術者の養成を行う。松江高専の学生と地域の建設技術者の交流を通じ、ICT技術を活用して建設技術者教育の充実と活性化を促進する。

【実施体制】



※ i-Constructionとは、3Dマシントロールなどを使った情報化施工や、構造物の3次元モデルを使って設計・施工を行うCIM、UAV(ドローン)やロボットを使った構造物の点検・補修など、様々なICT(情報通信技術)関連の設計・施工・維持管理技術の導入や開発を進めること。

【工程表】

平成30年7月 ～ 平成30年12月	アクティブ・ラーニングによるi-Construction教育の充実 ● e-Learningと体験型学習を組み合わせた教育プログラム構築 ● 3Dモデリングと建設技術教育の教育コンテンツの作成 ● 体験型学習(UAVによる写真測量、CIMによる建設プロセス講座等)
平成30年10月 ～ 平成31年2月	開発カリキュラムの運用・試行 ● 本学学生とリカレント教育として参加する島根県内の技術者への試行 ● アンケート調査の実施 ● 島根県建設技術者育成協議会による評価
平成31年2月 ～ 平成31年3月	教育プログラムの検証・評価・事業成果の周知 ● 教育プログラムの検証・評価、改善プログラムの立案・展開 ● 島根県建設技術者育成会議を通じて地元行政・建設関係企業等に事業成果を周知 ● 中高の教員及び生徒向けの事業紹介(地域を根ざす人材育成)

【成果指標】

- 授業や卒業研究などでのi-Constructionに関する事業件数、企業数、参加学生数
事業数 10件(平成28年度2件、平成29年度4件)、企業数 5件(平成28年度1件、平成29年度2件)、参加学生数30名(H28年度4名、平成29年度20名)
- i-Constructionに係る教育プログラム(リカレント教育)の受講者数 10名(H28年度0名、平成29年度2名)
- 地域の建設分野のi-Constructionへの行政、企業の取り組みの活性化(アンケート調査で活性化状況を把握)

【第4期中期目標期間への展開(見込み)】

本事業により、学生や地域の建設技術者がi-Constructionに対応した知識とスキルを学ぶ環境を整備する。本事業で開発する教育コンテンツは他高専の建設系学科において利用できるようe-Learning教材として教育プログラムを構築する。本事業で構築した体験型学習教育プログラムにより、建設業の魅力を高め、建設プロセスの早期理解と技術継承を加速させ、担い手不足の解決に貢献する。また、本事業の成果をICT・IoT・AIなどを活用した地域課題解決型のPBL型科目として全学で取り組む科目に展開し、新産業の創出を促進する。